

## 令和4年度第9回 感染症発生動向調査部会

令和4年12月21日

月番：加藤達雄

### 1 前月の感染症発生動向について（2022年第44週～47週・11月）

#### <全数把握対象疾患>

- ・結核患者15例、潜在性結核感染症2例の報告が今月あった。1例の10歳代を除き、他は70歳以上であった。累計では、結核は前年比94.3%、潜在性結核感染症は86.4%と減少している。
- ・腸管出血性大腸菌感染症は、4例の報告があり、O157が3例、その他が1例であった。
- ・E型肝炎、A型肝炎が、それぞれ1例ずつ報告があった。
- ・梅毒は、14例（早期顕症12例、無症候性2例）の報告があり、累計では前年比151%と増加している。今月の報告は、男性10例で女性は2例のみであった。
- ・百日咳は、本年はじめ2例の報告があり、ワクチン4回接種ある1～4歳の小児例であった。

#### <定点把握対象疾患>

- ・インフルエンザは、前年同期、前月よりは増加しているが、2019年比1.2%と流行は起きていない。
- ・感染性胃腸炎も、前年同期、前月よりは増加しているが、2019年比65.3%と大きな流行は起きていない。
- ・その他の定点把握対象疾患も、特に流行はみられていない。

### 2 検討すべき課題

#### <保健環境研究所から>

- ・今シーズンのインフルエンザの流行について

### 3 情報提供すべき事項

- ・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律」12月9日

### 4 情報提供（月番委員専門分野から）

- ・COVID-19に対する薬物治療の考え方 第15版 日本感染症学会（治療薬にエンシトレルビル フマル酸が追加）

### 5 その他（感染症対策推進課から）

---

#### <検討結果>